

県政記者クラブ 各位

商工労働観光部観光課

**平成 23 年スキー客の入込について
～ 2 月は堅調なるも結果的に対前年比で大幅減～**

県内の主なスキー場の入込数（平成 22 年 12 月～平成 23 年 3 月）結果を取りまとめましたのでお知らせします。

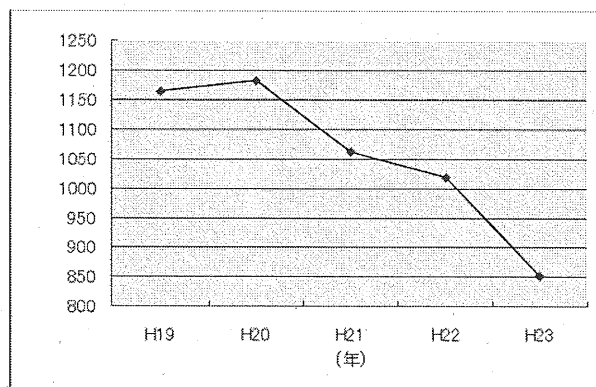
- 1 入込数 852,718 人回（平成 21 年 11 月～平成 22 年 5 月の入込数 1,019,978 人回）
- 2 対前年比 16.4%の減少
- 3 今シーズンの特徴

少雪によるシーズンインの遅れや年末年始の大雪等が影響し、厳しいスタートとなったが、2 月は対前年比で 5.6%の増加となり、シーズン終盤に向けて更なる誘客に努めていたところ、東日本大震災津波によりシーズンの途中で閉場となったため、結果的に大幅減となった。

【概況】

- 1 今シーズン（平成 22 年 12 月～平成 23 年 3 月）の県内の主なスキー場を対象とした入込調査を実施したところ、852,718 人回となり、対前年比で 16.4%の減少となりました。（営業日数は対前年比で 19.3%の減少。）
- 2 少雪によるシーズンインの遅れや年末年始の大雪等が影響し、1 月まででは対前年比で 5.6%の減少となりましたが、2 月は対前年比 5.6%の増加となり、シーズン終盤に向けて更なる誘客に努めていたところ、東日本大震災津波によりシーズンの途中で閉場となったため、結果的に大幅減となりました。
- 3 閉場後は、宿泊施設への被災者の受入れや、節電等による省エネ活動等に取り組んだスキー場もありました。
- 4 スキー客誘客は、本県の冬季観光振興にとって重要な取組であることから、県では、いわてウィンターリゾート協議会（事務局：株式会社岩手ホテル&リゾート）を中心に、関係市町村、東北観光推進機構等と連携を図りながら、首都圏へ向けた PR のほか、豪州や台湾等海外に向けての誘致活動に積極的に取り組んでいきます。（今シーズンの豪州スキー客の宿泊予約は、豪州旅行会社等招請等の取組の結果、延べ 718 人泊となっています。）

【参考】過去 5 年間のスキー客入込数の推移



(単位：千人回、%)

	H19	H20	H21	H22	H23
入込数	1,165	1,183	1,063	1,019	852
対前年比	▲9.7	1.5	▲10.2	▲4.0	▲16.4

【担当】観光振興担当 三浦 電話 019-629-5574